

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研 究 領 域 名	上皮管腔組織の形成・維持と破綻における極性シグナル制御の分子基盤の確立
領 域 代 表 者	菊池 章（大阪大学・大学院医学系研究科・教授）
研 究 期 間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助 金審査部会にお ける所見	本研究領域は、上皮細胞が 3 次元的に管腔組織を形成する過程および維持機構の解明とその破綻による疾患の理解を深めようとする研究提案である。多くの器官形成過程において上皮管腔組織形成は共通して起きる現象であり、本研究領域はこの管腔形成の基本原理の解明に挑む非常に興味深い提案として評価できる。異なる 2 つの上皮管腔形成モデルでパターン化する試みは魅力的で説得力がある。領域代表者のリーダーシップは高く評価でき、個々の計画研究代表者も優れた実績を修めてきていることから、十分な成果が期待できる。